

# 『第180回 営業地区内の景気動向調査』

1. 調査内容	2020年 4～6月期の実績 2020年 7～9月期の予想		
2. 調査対象	当金庫営業地域内の企業	合計	109社
(業種別内訳)	製 造 業 32社	卸 売 業	9社
	小 売 業 23社	サ ー ビ ス 業	13社
	建 設 業 21社	不 動 産 業	11社
3. 調査担当	道南うみ街信用金庫 業務部 地域貢献課		

## ☆ 目 次 ☆

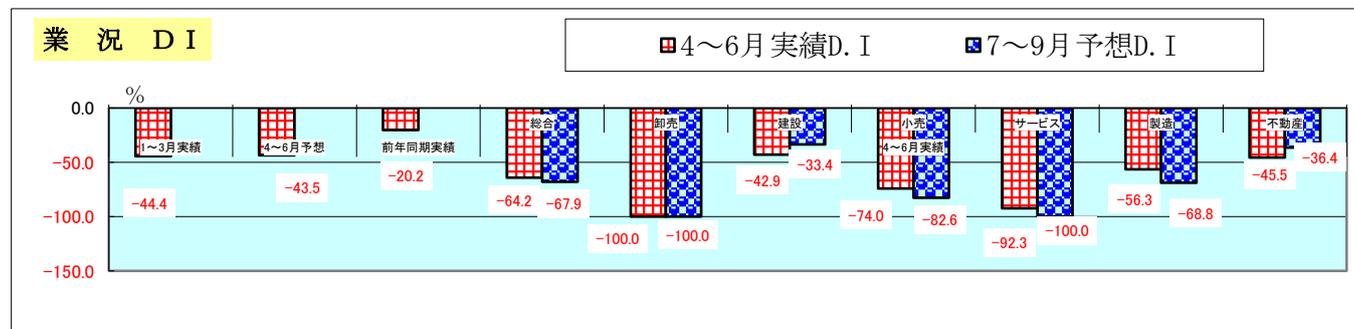
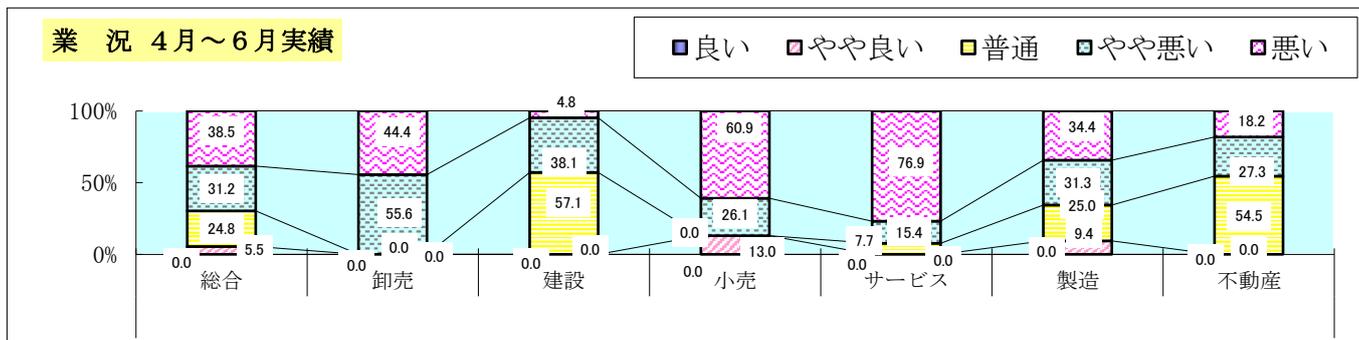
概況	P. 1
前期に比べた売上高の動き	P. 2
前期に比べた受注残・施工高の動き	P. 3
前期に比べた収益の動き	P. 4
前期に比べた販売価格（料金価格）の動き	P. 5
前期に比べた仕入価格の動き	P. 6
前期に比べた在庫の動き	P. 7
前期に比べた資金繰りの動き	P. 8
前年同期に比べた売上額の動き	P. 9
前年同期に比べた収益の動き	P. 10
前年同期に比べた販売価格の動き	P. 11
前期に比べた残業時間の動き	P. 12
前期に比べた人手の動き	P. 13
前期に比べた借入金の動き及び難易度	P. 14
前期に比べた設備投資の動き	P. 15
前期に比べた設備投資の実施と予定状況	P. 16
経営上の問題点	P. 17
当面の重点経営施策	P. 18
特別調査 … 「新型コロナウイルスの感染拡大による中小企業への影響について」①	P. 19
特別調査 … 「新型コロナウイルスの感染拡大による中小企業への影響について」②	P. 20

※ 計数等については、四捨五入しておりますので、一部合計欄と一致しない場合がございます。



# 1. 概 況

概 況		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	4～6月実績D. I	7～9月予想D. I
1～3月実績							-44.4	
4～6月予想							-43.5	
前年同期実績							-20.2	
4～6月実績	総合	0.0	5.5	24.8	31.2	38.5	-64.2	-67.9
	卸売	0.0	0.0	0.0	55.6	44.4	-100.0	-100.0
	建設	0.0	0.0	57.1	38.1	4.8	-42.9	-33.4
	小売	0.0	13.0	0.0	26.1	60.9	-74.0	-82.6
	サービス	0.0	0.0	7.7	15.4	76.9	-92.3	-100.0
	製造	0.0	9.4	25.0	31.3	34.4	-56.3	-68.8
	不動産	0.0	0.0	54.5	27.3	18.2	-45.5	-36.4



## ○ [当金庫の取引先からみた中小企業の景況]

’20年4～6月期の業況判断D. I. は△64.2で’20年1～3月期（前期）と比べ19.8ポイント悪化、前年同期比でも44.0ポイント悪化を示しました。また、次期についても△67.9と今期より3.7ポイント悪化の予想となった。

今期の売上判断D. I. △64.2は、前期実績D. I. 49.9から14.3ポイント下降し、前回調査における今期の予想D. I. △18.7からも45.5ポイントの悪化を示した。

## ○ [全国の信用金庫の窓口からみた中小企業の景況]（信金中央金庫地域・中小企業研究所調べ）

’20年4～6月期（今期）の業況判断D. I. は△56.9、前期比37.6ポイントの大幅悪化となった。今回の悪化幅は過去最大で、水準面でもバブル崩壊後の最悪まで低下した。

収益面では、前年同期比売上額判断D. I. が△59.9と前期比39.6ポイント悪化、同収益判断D. I. は△58.9と同38.0ポイント悪化した。販売価格判断D. I. は大幅に低下して△12.4となった。人手過不足判断D. I. は△2.0と急速に人手不足感が緩和した。設備投資実施企業割合は4.4ポイント低下して17.1%となった。業種別の業況判断D. I. は全6業種で、地域別でも全11地域で、それぞれ大幅に悪化した。

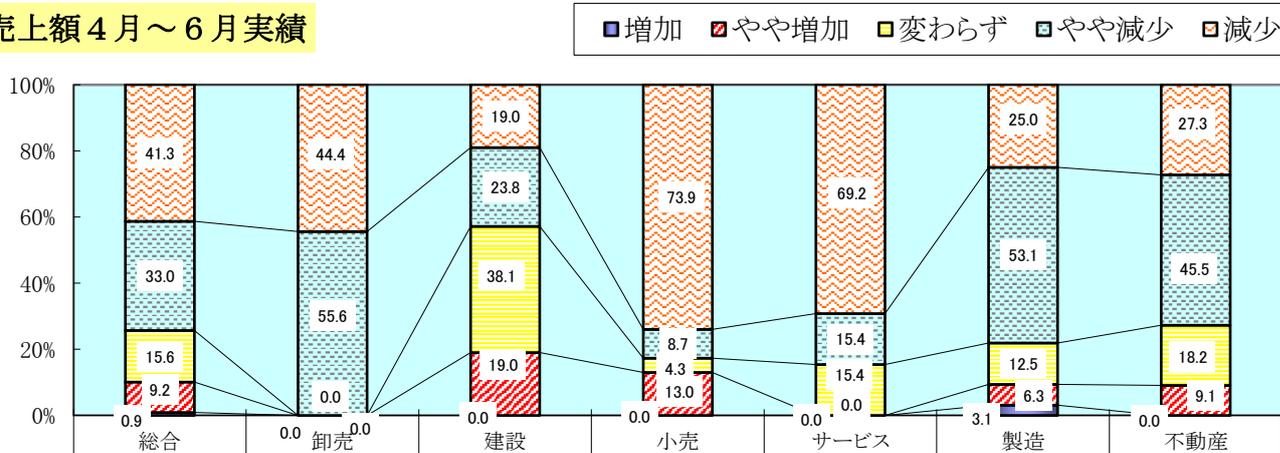
’20年7～9月期（来期）の予想業況判断D. I. は△58.4、今期実績比1.5ポイントの悪化を見込んでいる。

業種別では全6業種中5業種で、地域別では全11地域中8地域で、引き続き悪化する見通しにある。

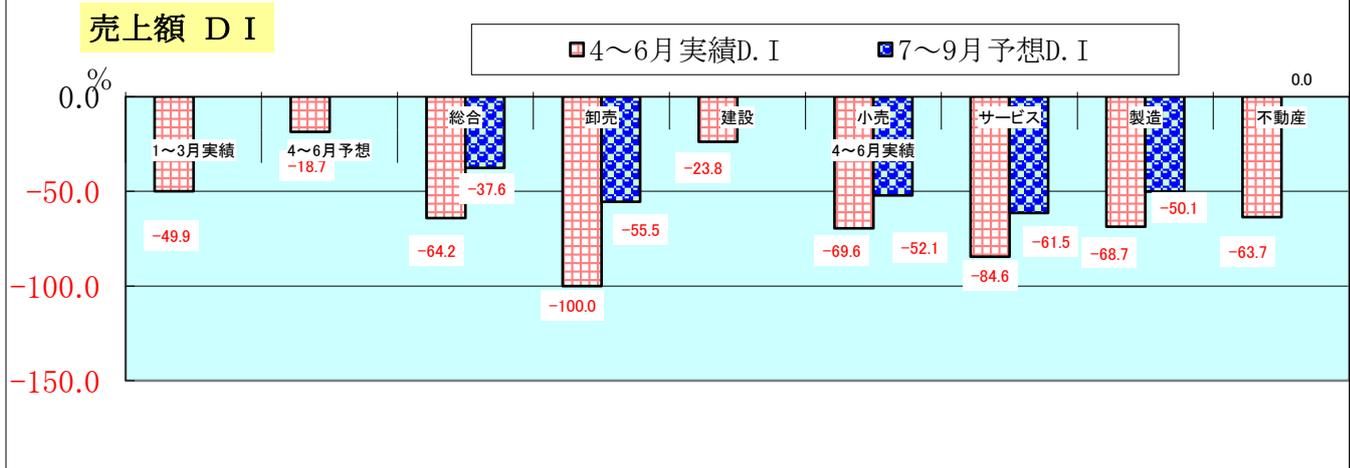
## 2. 前期に比べた動き (1) 売上額の動き

売上額		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4~6月実績D.I	7~9月予想D.I
1~3月実績							-49.9	
4~6月予想							-18.7	
4~6月実績	総合	0.9	9.2	15.6	33.0	41.3	-64.2	-37.6
	卸売	0.0	0.0	0.0	55.6	44.4	-100.0	-55.5
	建設	0.0	19.0	38.1	23.8	19.0	-23.8	0.0
	小売	0.0	13.0	4.3	8.7	73.9	-69.6	-52.1
	サービス	0.0	0.0	15.4	15.4	69.2	-84.6	-61.5
	製造	3.1	6.3	12.5	53.1	25.0	-68.7	-50.1
	不動産	0.0	9.1	18.2	45.5	27.3	-63.7	0.0

売上額 4月~6月実績



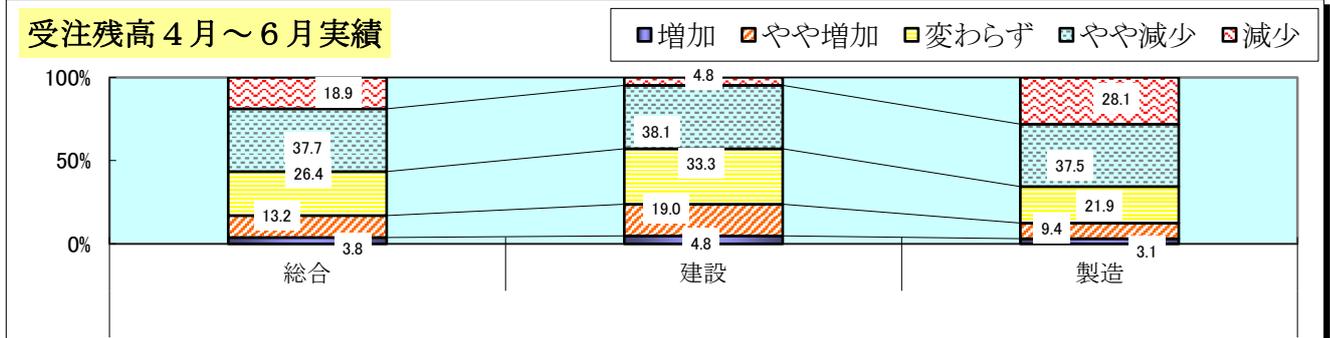
売上額 D.I



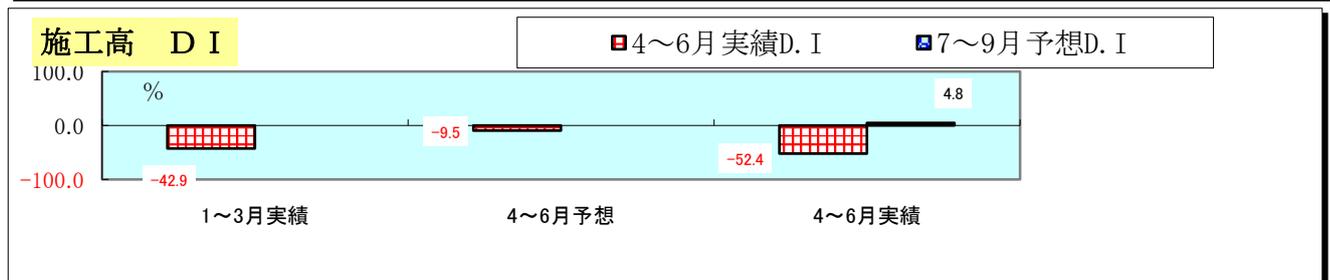
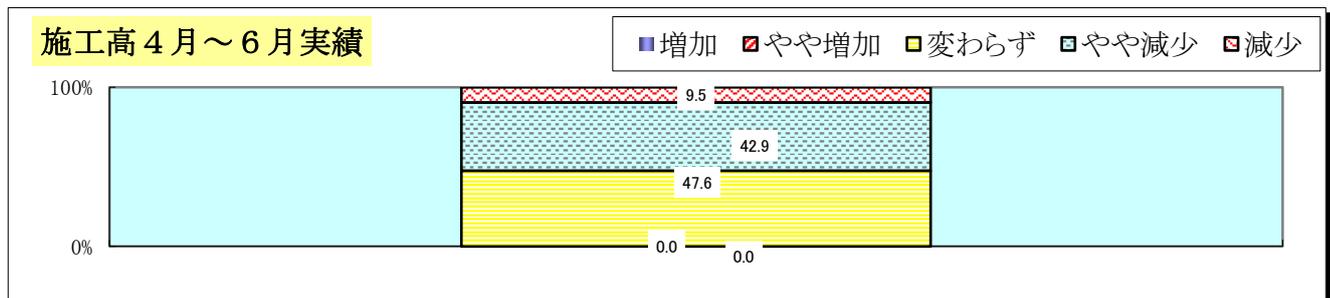
- 前期に比べて売上額が「増加」「やや増加」した企業は全体の10.1%、「減少」「やや減少」した企業は74.3%を示し、D.I.は△64.2となりました。
- 今期の売上判断D.I. △64.2は、前期実績D.I. 49.9から14.3ポイント下降し、前回調査における今期の予想D.I. △18.7からも45.5ポイントの悪化を示した。
- 業種別の今期D.I.は、全ての業種で売上額の減少を示している。卸売業で△100.0ポイント、サービス業で△84.6ポイント、小売業で△69.6ポイント、製造業で△68.7ポイントと大幅な減少となった。
- 7~9月期の売上額予想D.I.は△37.6で、4~6月実績対比26.6ポイントの売上回復と予想しています。

## (2) 受注残・施工高の動き

受注残高		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4~6月実績D.I	7~9月予想D.I
1~3月実績							-50.0	
4~6月予想							5.8	
4~6月実績	総合	3.8	13.2	26.4	37.7	18.9	-39.6	-20.7
	建設	4.8	19.0	33.3	38.1	4.8	-19.1	9.6
	製造	3.1	9.4	21.9	37.5	28.1	-53.1	-40.7



施工高		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4~6月実績D.I	7~9月予想D.I
1~3月実績							-42.9	
4~6月予想							-9.5	
4~6月実績		0.0	0.0	47.6	42.9	9.5	-52.4	4.8

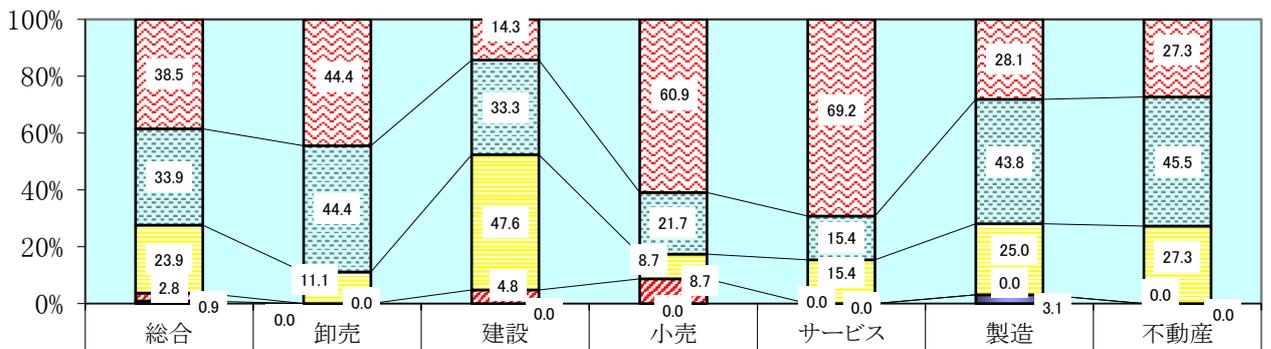


- 受注残(製造業、建設業のみ)D.I. は△39.6で、前期実績のD.I. △50.0に対し10.4ポイント上回った。前期調査における今期の予想D.I. 5.8に対しては45.4ポイント下回りました。また、7~9月期の受注残予想D.I. は△20.7で、今期実績対比18.9ポイントの増加を予想しています。
- 施工高(建設業のみ)D.I. は△52.4で、前期実績D.I. △42.9に対し9.5ポイントの下回りとなった。前回調査における今期予想D.I. △9.5に対しても42.9ポイント下回りしました。また、7~9月期の施工高予想D.I. は4.8で、4~6月実績対比57.2ポイントの増加と予想しています。

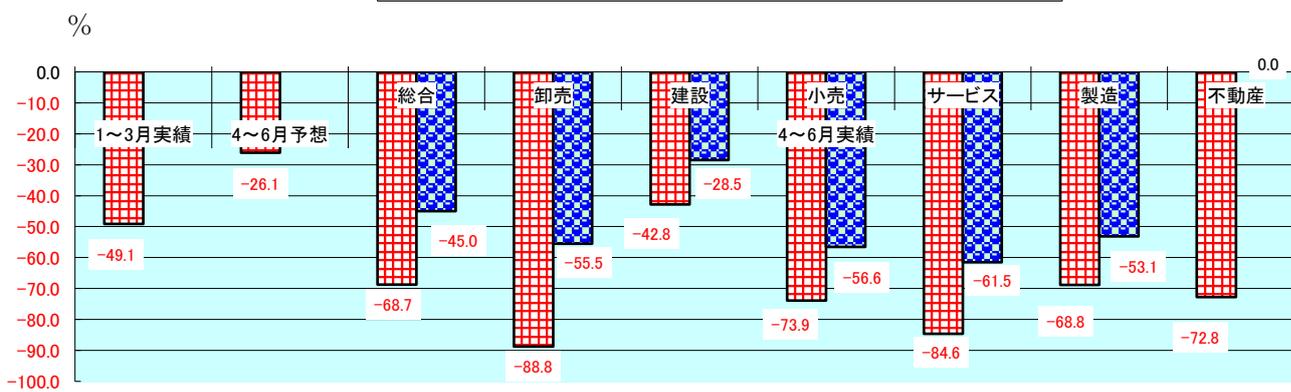
### (3) 収益の動き

収益の動き		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4~6月実績D.I	7~9月予想D.I
1~3月実績							-49.1	
4~6月予想							-26.1	
4~6月実績	総合	0.9	2.8	23.9	33.9	38.5	-68.7	-45.0
	卸売	0.0	0.0	11.1	44.4	44.4	-88.8	-55.5
	建設	0.0	4.8	47.6	33.3	14.3	-42.8	-28.5
	小売	0.0	8.7	8.7	21.7	60.9	-73.9	-56.6
	サービス	0.0	0.0	15.4	15.4	69.2	-84.6	-61.5
	製造	3.1	0.0	25.0	43.8	28.1	-68.8	-53.1
	不動産	0.0	0.0	27.3	45.5	27.3	-72.8	0.0

収益4月~6月実績



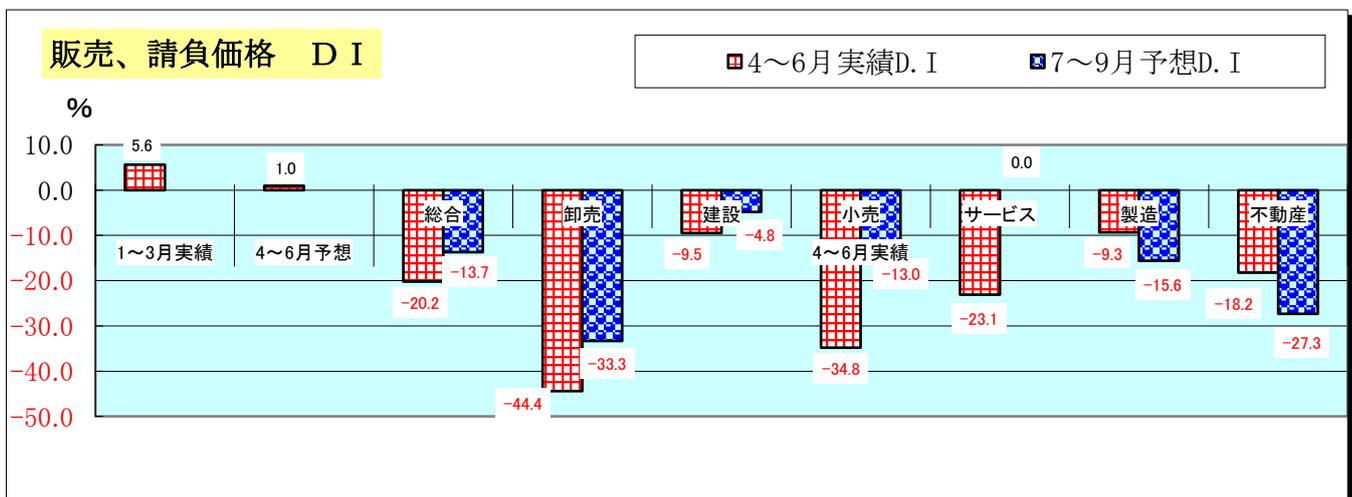
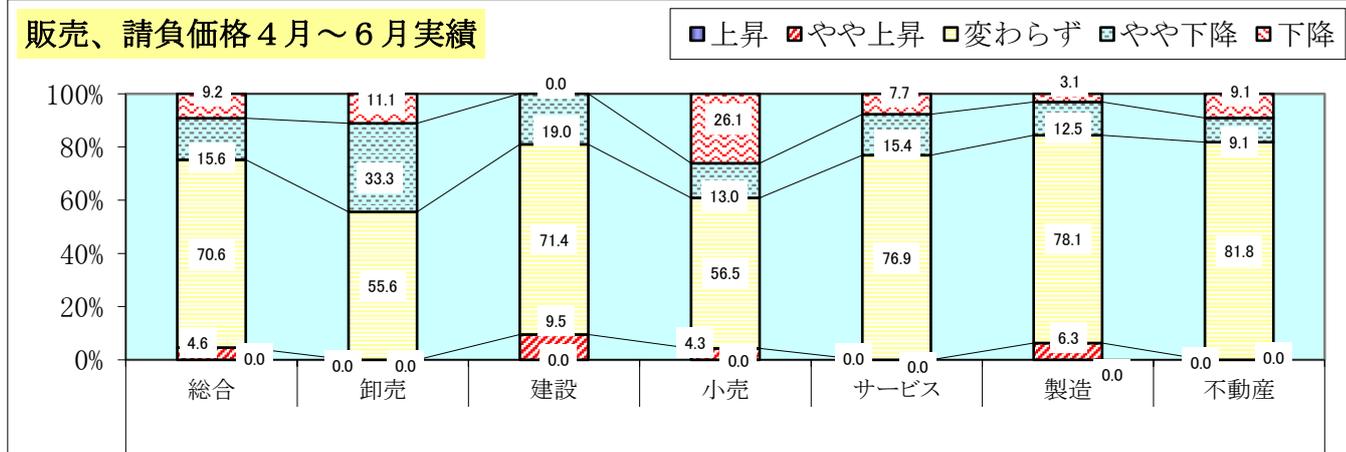
収益 D I



- 前期に比べて収益が「増加」「やや増加」した企業は3.7%、「やや減少」「減少」した企業は72.4%でD.I.は△68.7となりました。
- 今期実績は、前期実績D.I. △49.1から19.6ポイント下回り、前回調査における今期予想D.I. △26.1に対しても42.6ポイント下回りとなった。
- 業種別の今期D.I.は全ての業種でマイナスとなった。卸売業で△88.8、サービス業で△84.6、小売業で△73.9、不動産業で72.8ポイントと減少が顕著となっている。
- 7~9月期の収益予想D.I.は△45.0で、4~6月実績より23.7ポイントの良化と予想しています。

#### (4) 販売価格（料金価格・請負価格）の動き

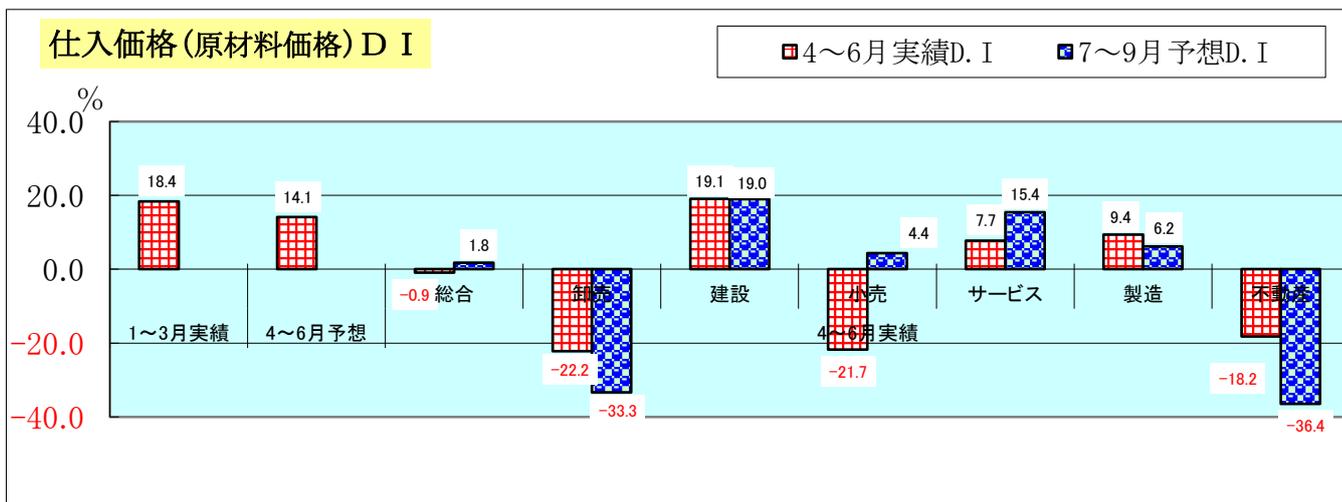
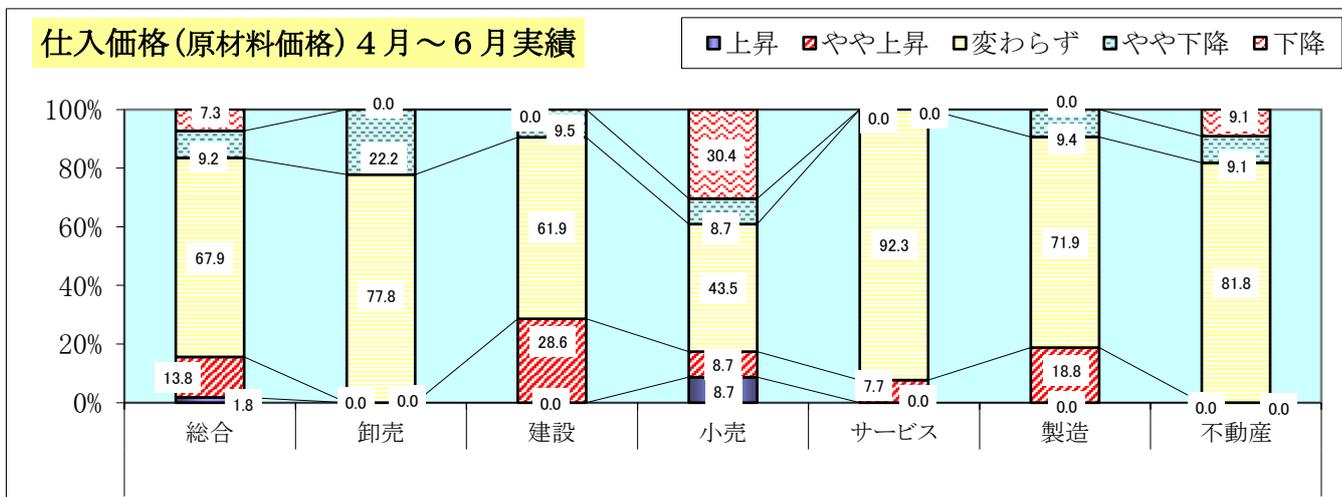
販売価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	4~6月実績D.I	7~9月予想D.I
1~3月実績							5.6	
4~6月予想							1.0	
4~6月実績	総合	0.0	4.6	70.6	15.6	9.2	-20.2	-13.7
	卸売	0.0	0.0	55.6	33.3	11.1	-44.4	-33.3
	建設	0.0	9.5	71.4	19.0	0.0	-9.5	-4.8
	小売	0.0	4.3	56.5	13.0	26.1	-34.8	-13.0
	サービス	0.0	0.0	76.9	15.4	7.7	-23.1	0.0
	製造	0.0	6.3	78.1	12.5	3.1	-9.3	-15.6
	不動産	0.0	0.0	81.8	9.1	9.1	-18.2	-27.3



- 前期に比べて販売価格が「上昇」「やや上昇」と回答している企業が4.6%、「やや下降」「下降」と回答している企業が24.8%で、D.I.は△20.2となりました。
- 今期実績は前期実績D.I.5.6から25.8ポイント下回り、前回調査における今期予想D.I.1.0ポイントよりも21.2ポイント下回りとなりました。
- 業種別では、卸売業で△44.4、小売業で△34.8ポイントと大幅な下降を示し、他業種も全て下降となった。
- 7~9月期の販売価格予想D.I.は△13.7で、4~6月期実績対比6.5ポイントの上昇と予想しています。製造業と不動産業では販売価格下降予想となり、他業種は上昇を予想、中でもサービス業では23.1ポイントの大幅上昇を予想している。

### (5) 仕入価格（原材料価格）の動き

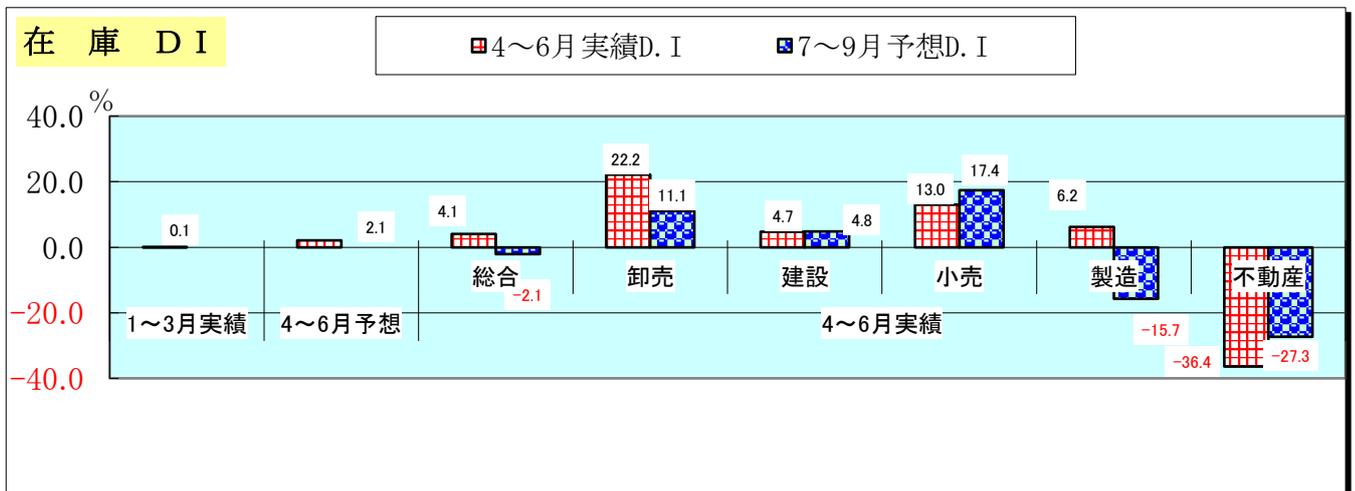
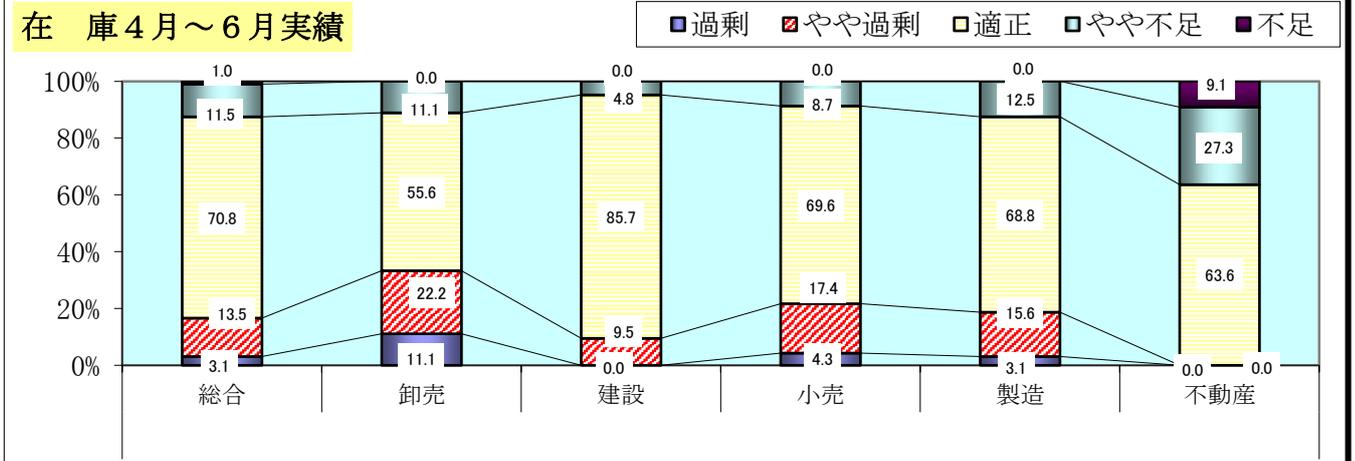
仕入価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	4~6月実績D.I	7~9月予想D.I
1~3月実績							18.4	
4~6月予想							14.1	
4~6月実績	総合	1.8	13.8	67.9	9.2	7.3	-0.9	1.8
	卸売	0.0	0.0	77.8	22.2	0.0	-22.2	-33.3
	建設	0.0	28.6	61.9	9.5	0.0	19.1	19.0
	小売	8.7	8.7	43.5	8.7	30.4	-21.7	4.4
	サービス	0.0	7.7	92.3	0.0	0.0	7.7	15.4
	製造	0.0	18.8	71.9	9.4	0.0	9.4	6.2
	不動産	0.0	0.0	81.8	9.1	9.1	-18.2	-36.4



- 前期に比べて仕入価格が「上昇」「やや上昇」と回答している企業が15.6%、「やや下降」「下降」と回答している企業が16.5%で、今期実績D.I.は△0.9となりました。
- 今期実績は、前期実績D.I. 18.4から19.3ポイント下降し、前回調査における今期予想D.I. 14.1に対しても15.0ポイントの下降を示しました。
- 業種別では、建設業、製造業、サービス業で上昇傾向となり、卸売業、小売業、不動産業では下降傾向となった。
- 7~9月期の予想D.I.は1.8で、4~6月期実績対比2.7ポイントの上昇を予想しています。殊に小売業では前期比26.1ポイント上昇の予想となりました。

## (6) 在庫の動き

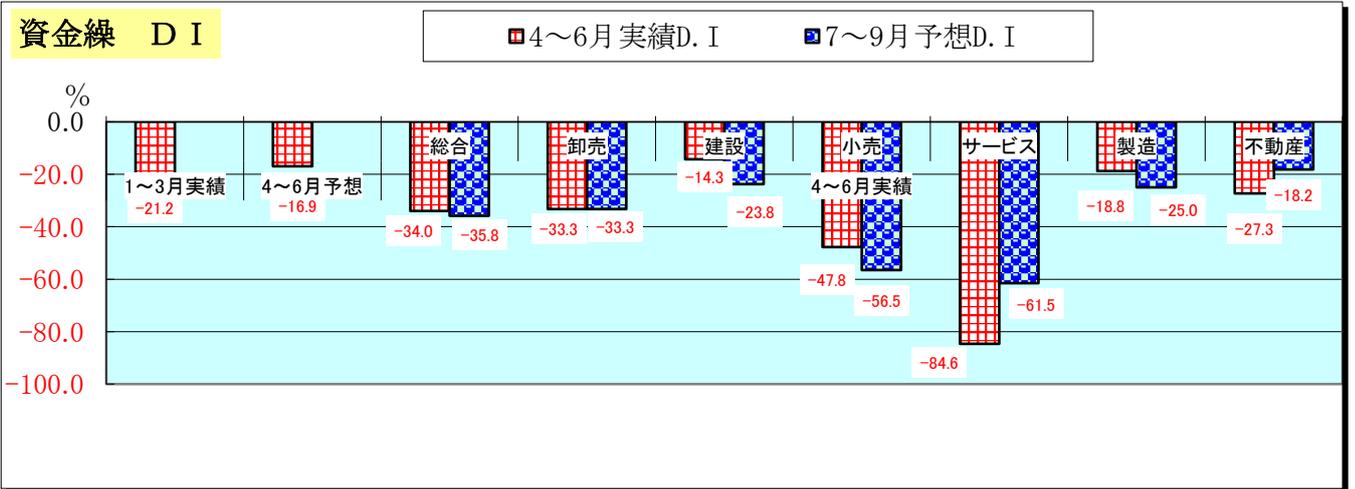
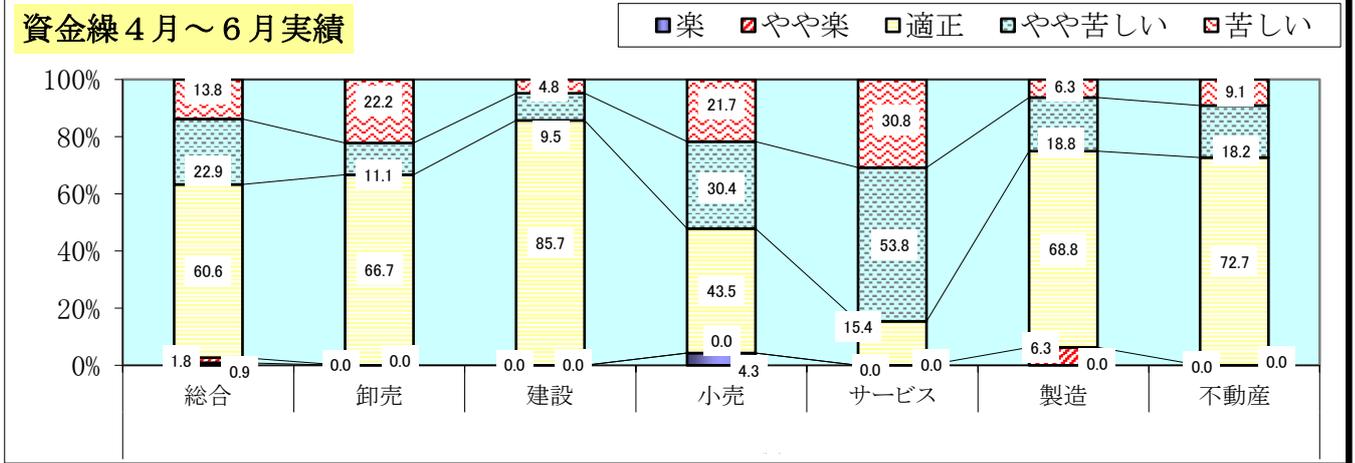
在庫		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	4~6月実績D.I	7~9月予想D.I
1~3月実績							0.1	
4~6月予想							2.1	
4~6月実績	総合	3.1	13.5	70.8	11.5	1.0	4.1	-2.1
	卸売	11.1	22.2	55.6	11.1	0.0	22.2	11.1
	建設	0.0	9.5	85.7	4.8	0.0	4.7	4.8
	小売	4.3	17.4	69.6	8.7	0.0	13.0	17.4
	製造	3.1	15.6	68.8	12.5	0.0	6.2	-15.7
	不動産	0.0	0.0	63.6	27.3	9.1	-36.4	-27.3



- 前期に比べて在庫（サービス業を除く）が「過剰」「やや過剰」と回答している企業が16.6%、「やや不足」「不足」と回答している企業が12.5%で、今期D.I.は4.1となりました。
- 今期実績は、前期実績D.I.0.1から4.0ポイント過剰傾向となった。前回における今期予想D.I.2.1に対しても2.0ポイントの過剰を示しました。
- 業種別では、不動産業で36.4ポイントの不足となり、他は過剰傾向となっている。殊に卸売業で22.2ポイント、小売業で13.0ポイントの在庫過剰となりました。
- 7~9月期の総合予想D.I.は△2.1の不足傾向となり、4~6月期実績比△6.2ポイントを予想しています。製造業では不足傾向の予想となり、小売業に於いては次期も更なる過剰の予想となる。

## (7) 資金繰りの動き

資金繰り		楽	やや楽	適正	やや苦しい	苦しい	4~6月実績D.I	7~9月予想D.I
1~3月実績							-21.2	
4~6月予想							-16.9	
4~6月実績	総合	0.9	1.8	60.6	22.9	13.8	-34.0	-35.8
	卸売	0.0	0.0	66.7	11.1	22.2	-33.3	-33.3
	建設	0.0	0.0	85.7	9.5	4.8	-14.3	-23.8
	小売	4.3	0.0	43.5	30.4	21.7	-47.8	-56.5
	サービス	0.0	0.0	15.4	53.8	30.8	-84.6	-61.5
	製造	0.0	6.3	68.8	18.8	6.3	-18.8	-25.0
	不動産	0.0	0.0	72.7	18.2	9.1	-27.3	-18.2



- 前期に比べて資金繰りが「楽」「やや楽」と回答している企業が2.7%、「やや苦しい」「苦しい」と回答している企業が36.7%となり、今期D.I.は△34.0となりました。
- 今期実績は前期実績D.I. △21.2から12.8ポイント悪化、前回調査における今期予想D.I. △16.9からも17.1ポイントの悪化となりました。
- 業種別では、全ての業種で資金繰りが苦しい状況を示しています。殊にサービス業では△84.6ポイントと厳しい状況となっています。
- 7~9月期の予想D.I.は△35.8で、4~6月期実績比で1.8ポイント悪化となり、次期に於いて、サービス業・不動産業で若干の改善は見られるが全ての業種で資金繰りの苦しさが予想されます。

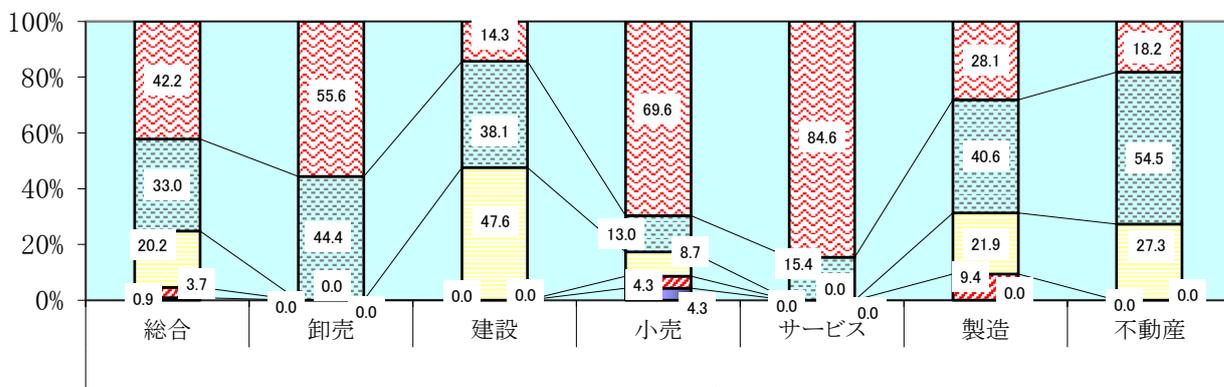
### 3. 対前年同期に比べた動き

#### (1) 売上

対前年同期比売上		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4～6月実績D.I
前年同期実績							-21.1
4～6月実績	総合	0.9	3.7	20.2	33.0	42.2	-70.6
	卸売	0.0	0.0	0.0	44.4	55.6	-100.0
	建設	0.0	0.0	47.6	38.1	14.3	-52.4
	小売	4.3	4.3	8.7	13.0	69.6	-74.0
	サービス	0.0	0.0	0.0	15.4	84.6	-100.0
	製造	0.0	9.4	21.9	40.6	28.1	-59.3
	不動産	0.0	0.0	27.3	54.5	18.2	-72.7

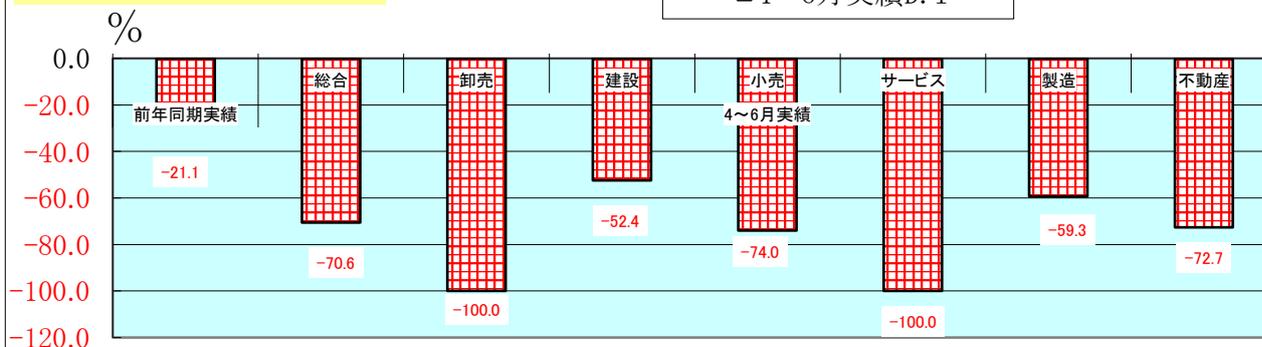
対前年同期比売上額 4月～6月実績

■増加 ■やや増加 □変わらず ■やや減少 ■減少



対前年同期比売上 D I

■4～6月実績D.I

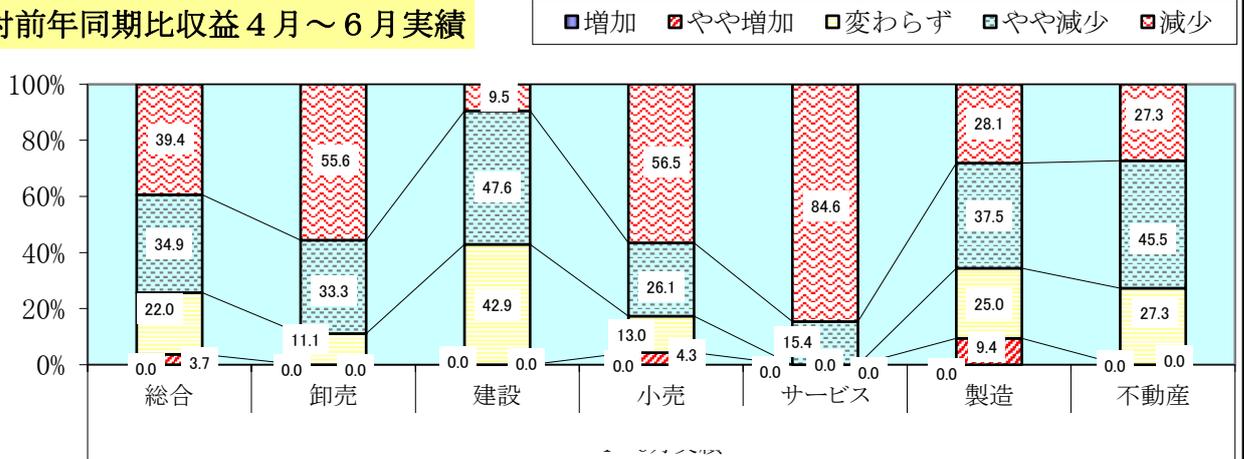


- 前年同期に比べた売上実績については、「増加」「やや増加」と回答している企業が4.6%、「やや減少」「減少」と回答している企業が75.2%で、今期D.I.は△70.6となりました。
- 今期実績は、前年同期実績D.I. △21.1に対し49.5ポイントの悪化を示しました。
- 業種別では、全ての業種で減少となった。殊に卸売業・サービス業・小売業の減少が顕著となりました。

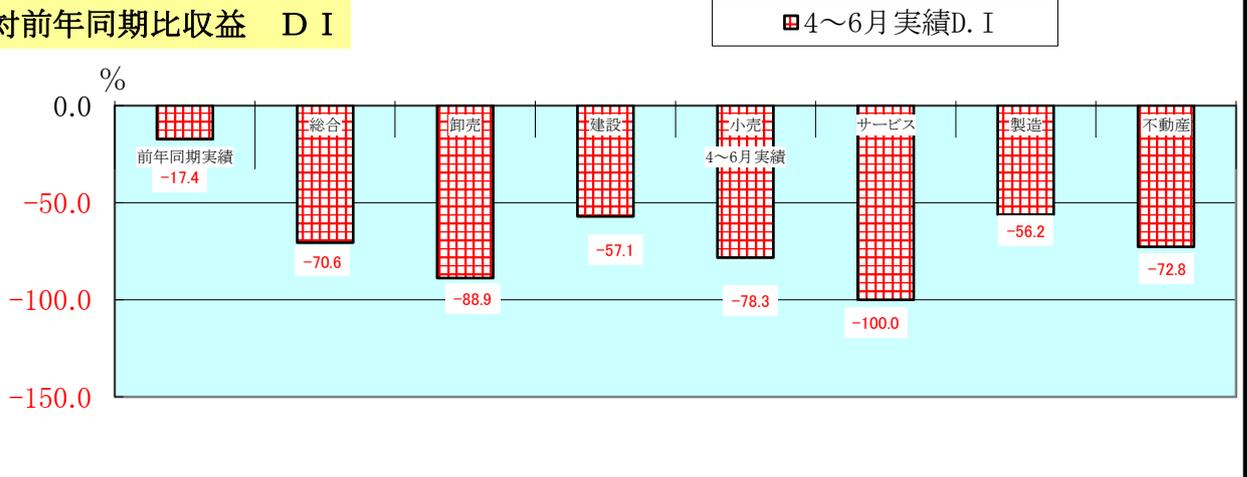
## (2) 収益

対前年同期比収益		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4~6月実績D. I
前年同期実績							-17.4
4~6月実績	総合	0.0	3.7	22.0	34.9	39.4	-70.6
	卸売	0.0	0.0	11.1	33.3	55.6	-88.9
	建設	0.0	0.0	42.9	47.6	9.5	-57.1
	小売	0.0	4.3	13.0	26.1	56.5	-78.3
	サービス	0.0	0.0	0.0	15.4	84.6	-100.0
	製造	0.0	9.4	25.0	37.5	28.1	-56.2
	不動産	0.0	0.0	27.3	45.5	27.3	-72.8

対前年同期比収益 4月～6月実績



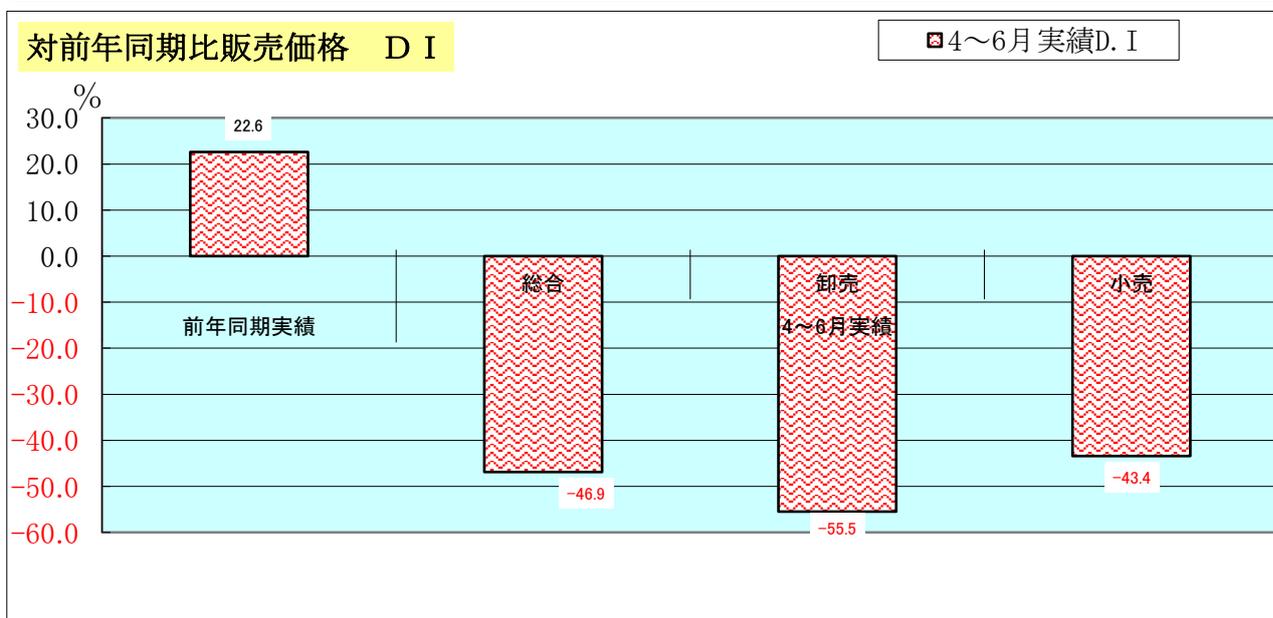
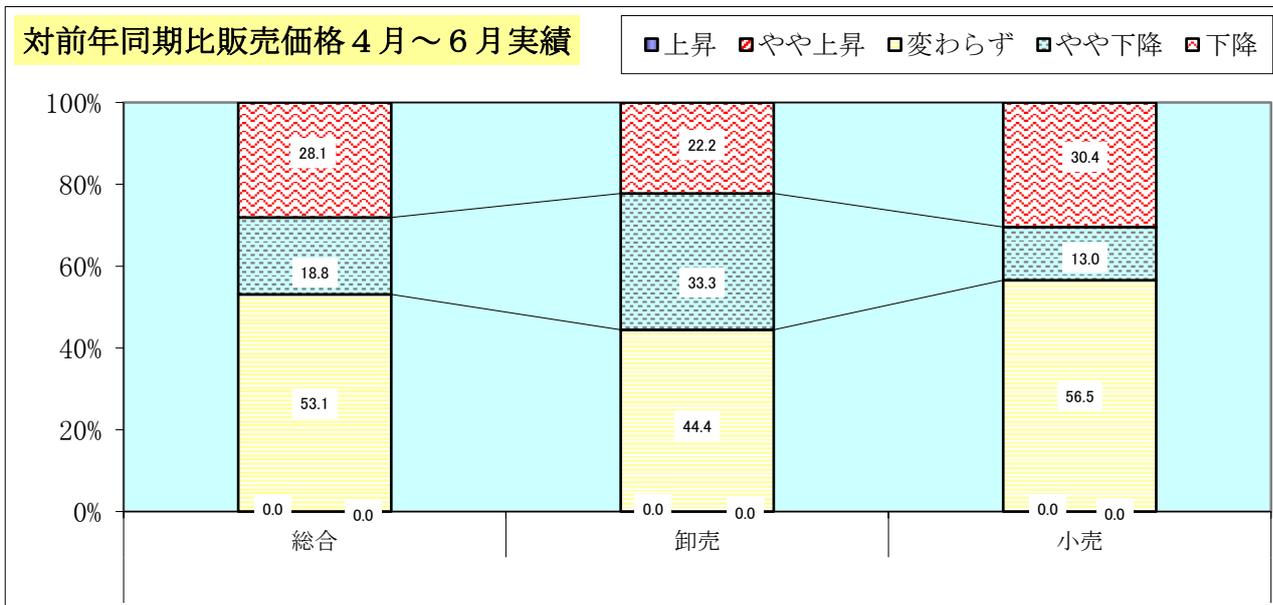
対前年同期比収益 D I



- 収益については、「増加」「やや増加」と回答している企業が3.7%、「やや減少」「減少」と回答している企業が74.3%で、今期D. I. は△70.6となりました。
- 今期実績は前年同期実績D. I. △17.4に対し、53.2ポイントの悪化となりました。
- 業種別では、全ての業種で減少となりました。殊にサービス業・卸売業・小売業・不動産業は大幅減少となりました。

### (3) 販売価格

対前年同期比販売価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	4~6月実績D.I
前年同期実績							22.6
4~6月実績	総合	0.0	0.0	53.1	18.8	28.1	-46.9
	卸売	0.0	0.0	44.4	33.3	22.2	-55.5
	小売	0.0	0.0	56.5	13.0	30.4	-43.4

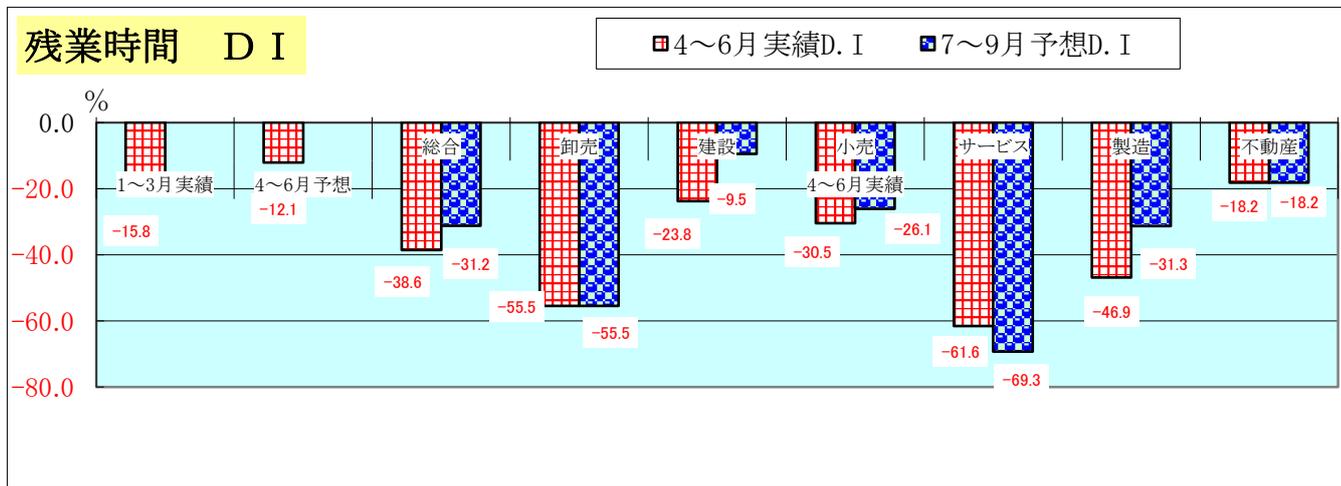
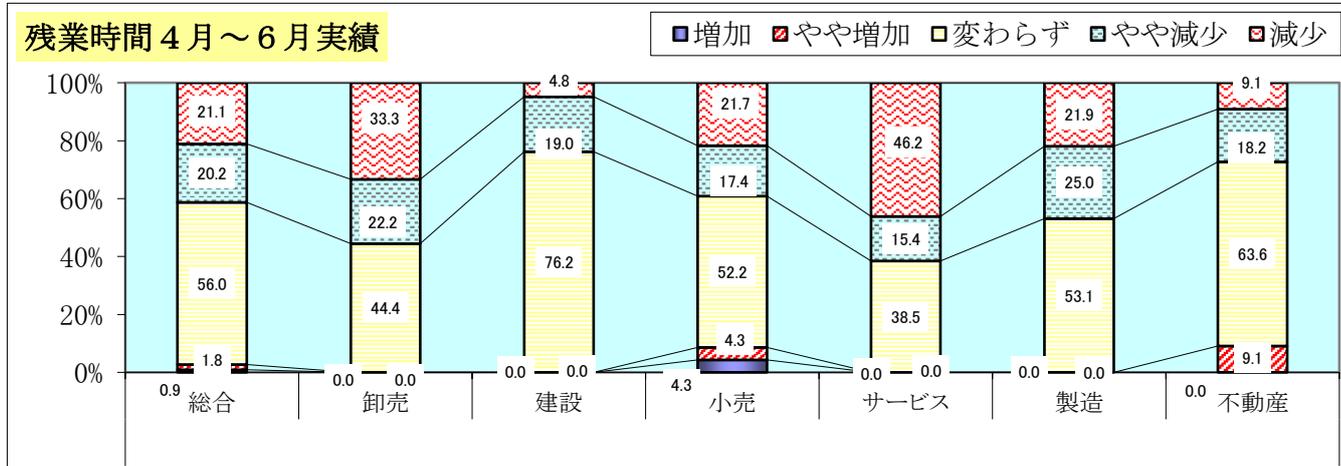


- 販売価格（卸売・小売のみ）については「上昇」「やや上昇」と回答している企業が0.0%、「やや下降」「下降」と回答している企業が46.9%となり、今期D.I.は△46.9となりました。
- 今期実績は前年同期実績D.I. 22.6に対し69.5ポイントの下降となりました。
- 業種別では、卸売業、小売業共に販売価格は下降となりました。

## 4. 雇用面の動き

### (1) 残業時間

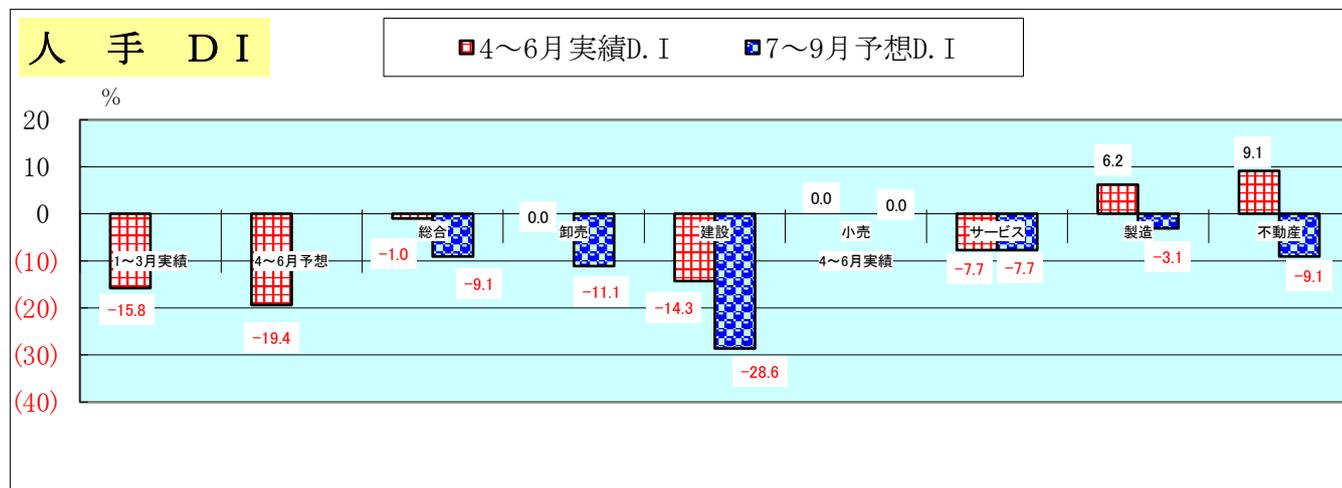
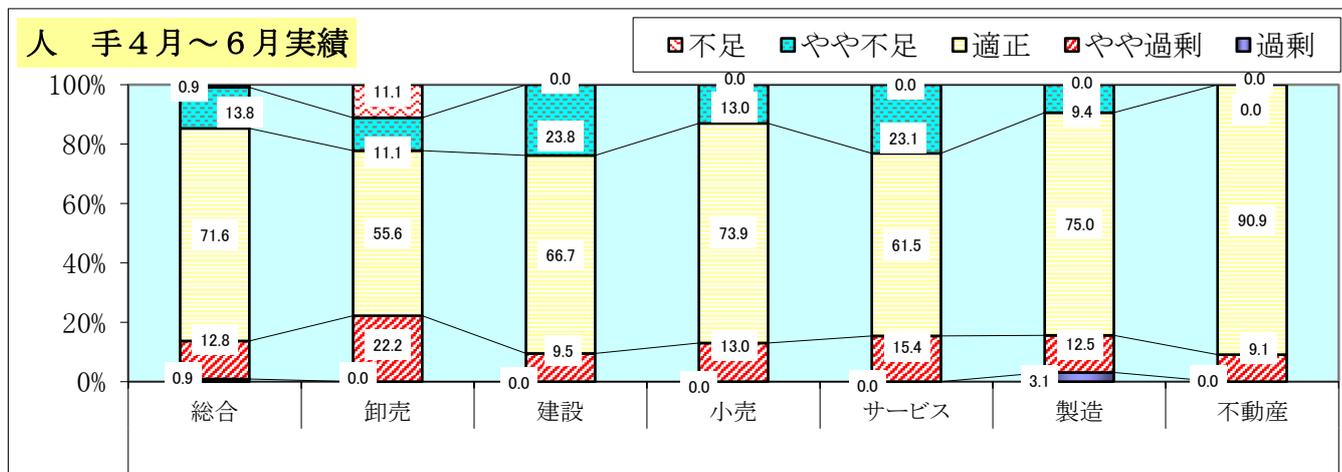
残業時間		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4~6月実績D.I	7~9月予想D.I
1~3月実績							-15.8	
4~6月予想							-12.1	
4~6月実績	総合	0.9	1.8	56.0	20.2	21.1	-38.6	-31.2
	卸売	0.0	0.0	44.4	22.2	33.3	-55.5	-55.5
	建設	0.0	0.0	76.2	19.0	4.8	-23.8	-9.5
	小売	4.3	4.3	52.2	17.4	21.7	-30.5	-26.1
	サービス	0.0	0.0	38.5	15.4	46.2	-61.6	-69.3
	製造	0.0	0.0	53.1	25.0	21.9	-46.9	-31.3
	不動産	0.0	9.1	63.6	18.2	9.1	-18.2	-18.2



- 残業時間については、「増加」「やや増加」と回答している企業が2.7%、「やや減少」「減少」と回答している企業が41.3%で、今期D.I.は△38.6となりました。
- 今期実績は前期実績D.I. △15.8に対し22.8ポイント残業時間が減少となった。前回調査における今期予想D.I. △12.1に対しても26.5ポイントの残業時間の減少を示しました。
- 業種別では、全ての業種で残業は減少傾向です。サービス業・卸売業で大幅減少を示しています。
- 7~9月期の予想D.I. △31.2で、4~6月期実績より7.4ポイントの残業増加を予想しています。製造業で15.6ポイント、建設業で14.3ポイントの残業増加予想となりました。

## (2) 人手

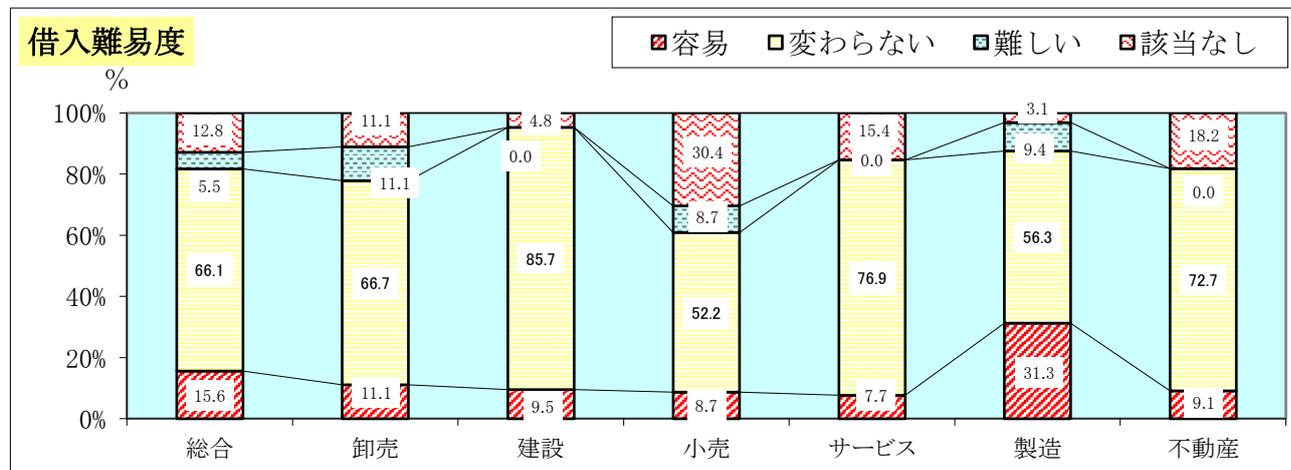
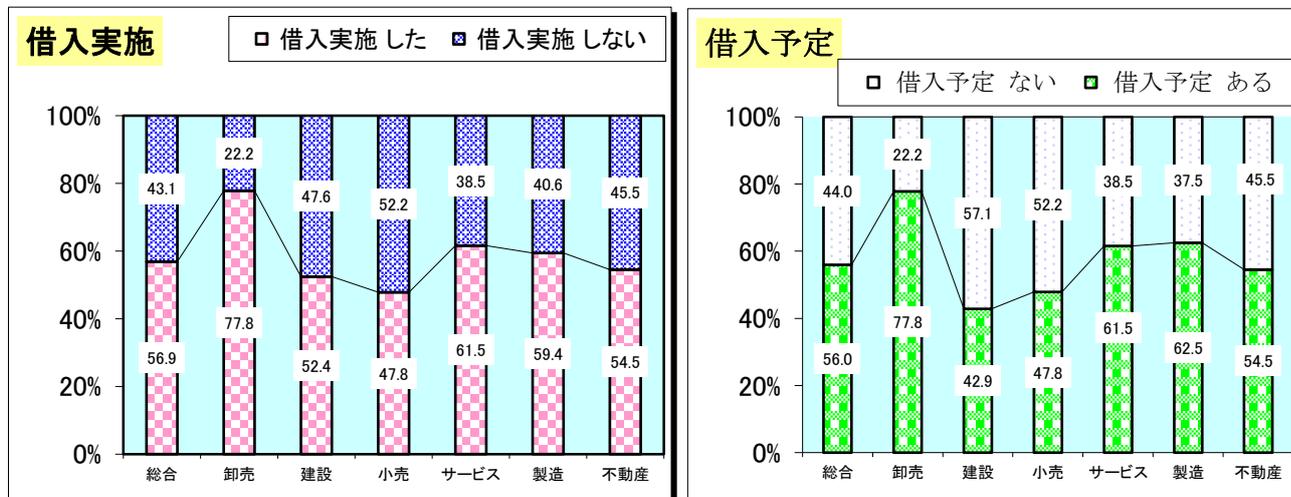
人 手		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	4~6月実績D.I	7~9月予想D.I
1~3月実績							-15.8	
4~6月予想							-19.4	
4~6月実績	総合	0.9	12.8	71.6	13.8	0.9	-1.0	-9.1
	卸売	0.0	22.2	55.6	11.1	11.1	0.0	-11.1
	建設	0.0	9.5	66.7	23.8	0.0	-14.3	-28.6
	小売	0.0	13.0	73.9	13.0	0.0	0.0	0.0
	サービス	0.0	15.4	61.5	23.1	0.0	-7.7	-7.7
	製造	3.1	12.5	75.0	9.4	0.0	6.2	-3.1
	不動産	0.0	9.1	90.9	0.0	0.0	9.1	-9.1



- 人手の過不足については、「過剰」「やや過剰」と回答している企業が13.7%、「やや不足」「不足」と回答している企業が14.7%で、今期D.I.は△1.0となりました。
- 今期実績は前期実績D.I. △15.8から14.8ポイント人手不足の改善となった。前回調査における今期予想D.I. △19.4に対しても、18.4ポイント人手不足が改善された。
- 業種別では、卸売業・小売業では適正を示し、不動産業・製造業では過剰となり、建設業・サービス業は依然として人手不足傾向となっている。
- 7~9月期予想D.I.は△9.1で、4~6月期実績D.I.より8.1ポイントの人手不足傾向を予想しております。小売業のみ適正で、他業種は全て人手不足を予想しています。

## 5. 借入金の動き

借入の実施	借入実施		借入予定		借入難易度			
	した	しない	ある	ない	容易	変わらない	難しい	該当なし
総合	56.9	43.1	56.0	44.0	15.6	66.1	5.5	12.8
卸売	77.8	22.2	77.8	22.2	11.1	66.7	11.1	11.1
建設	52.4	47.6	42.9	57.1	9.5	85.7	0.0	4.8
小売	47.8	52.2	47.8	52.2	8.7	52.2	8.7	30.4
サービス	61.5	38.5	61.5	38.5	7.7	76.9	0.0	15.4
製造	59.4	40.6	62.5	37.5	31.3	56.3	9.4	3.1
不動産	54.5	45.5	54.5	45.5	9.1	72.7	0.0	18.2

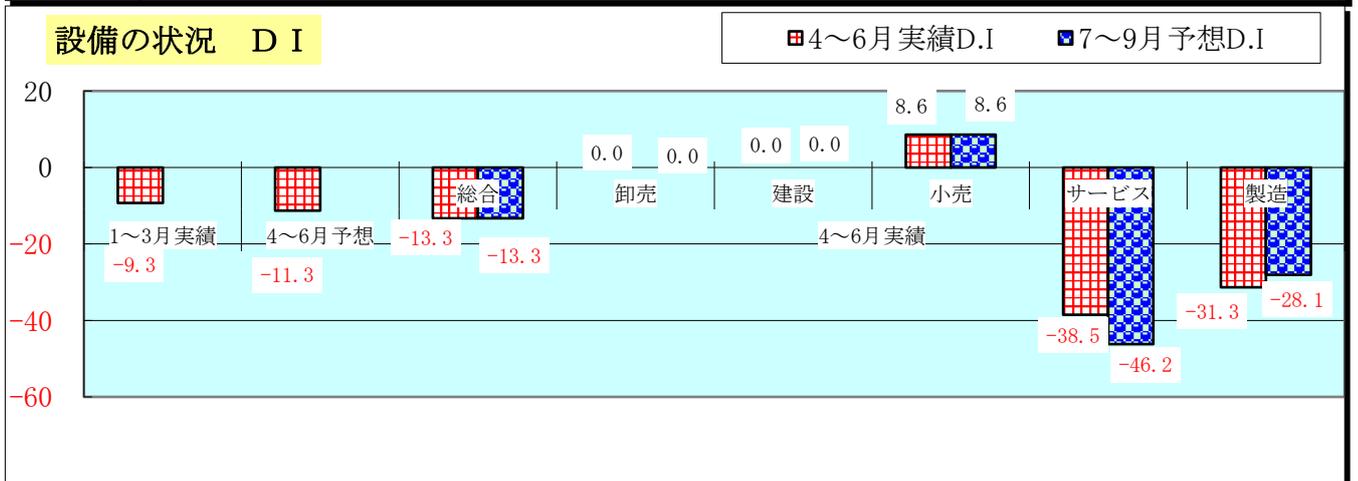
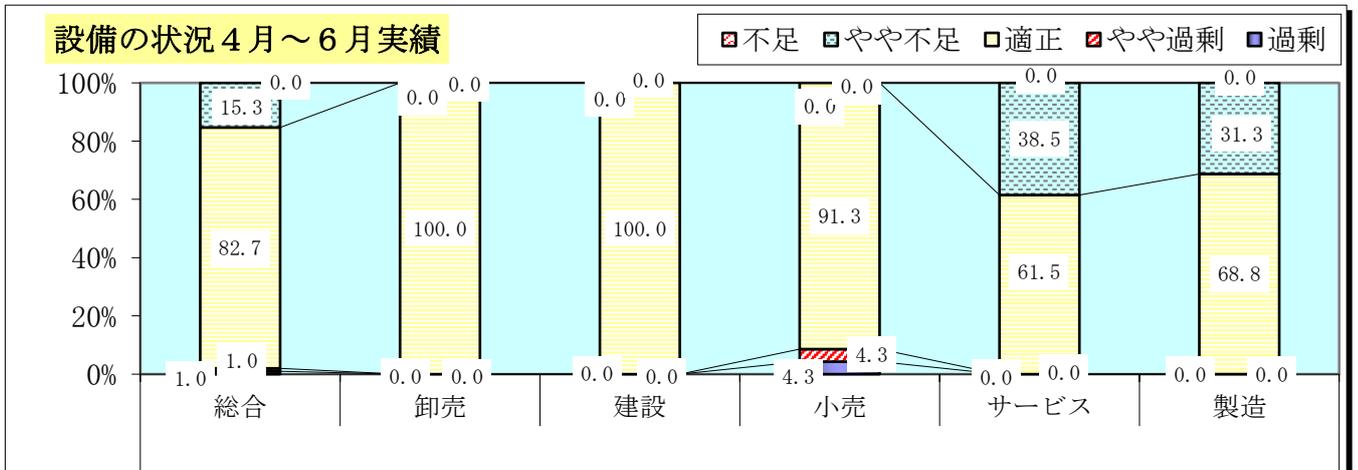


- 今期中に借入を「実施した」企業は全体の56.9%であり、全ての業種で借入を実施しています。前回調査では借入実施率29.6%となっています。
- 今後の借入予定では、56.0%の企業が「予定あり」と回答しています。業種別では、卸売業77.8%、製造業62.5%、サービス業61.5%、不動産業54.5%、小売業47.8%、建設業42.9%となっています。
- 民間金融機関からの借入難易度について見ると、「変わらない」と回答した企業が66.1%（前回75.9%）、「容易」は15.6%（前回4.6%）、「難しい」は5.5%（前回8.3%）となっています。

## 6. 設備投資の動き

### (1) 設備状況

設備の動き		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	4~6月実績D.I	7~9月予想D.I
1~3月実績							-9.3	
4~6月予想							-11.3	
4~6月実績	総合	1.0	1.0	82.7	15.3	0.0	-13.3	-13.3
	卸売	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	建設	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小売	4.3	4.3	91.3	0.0	0.0	8.6	8.6
	サービス	0.0	0.0	61.5	38.5	0.0	-38.5	-46.2
	製造	0.0	0.0	68.8	31.3	0.0	-31.3	-28.1



- 設備の状況(不動産を除く)について、「過剰」「やや過剰」と回答している企業が2.0%、「不足」「やや不足」と回答している企業が15.3%で、今期D.I.は△13.3となりました。
- 今期実績は、前期実績D.I. △9.3に対して4.0ポイントの不足を示し、前回調査における今期予想D.I. △11.3に対しても2.0ポイントの不足となりました。
- 業種別では、卸売業・建設業は適正、小売業では過剰傾向となり、サービス業・製造業での不足が顕著となった。
- 7~9月期予想D.I.は△13.3で、4~6月期実績D.I.と同数となった。サービス業46.2ポイント、製造業28.1ポイントと大幅な不足傾向を予想しています。

## (2) 設備投資の実施と予定状況

(複数回答)

設備投資の実施内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
4～6月(件数) 総合	0	5	5	3	7	0	81
卸売	0	0	0	1	0	0	8
建設	0	3	0	1	2	0	16
小売	0	-	-	0	1	0	21
サービス	0	1	0	0	0	0	12
製造	0	1	5	1	4	0	24

設備投資の予定内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
7～9月(件数) 総合	2	3	2	2	5	0	84
卸売	0	0	0	1	0	0	8
建設	1	2	0	0	2	0	16
小売	0	-	-	0	2	0	20
サービス	1	1	0	0	0	0	11
製造	0	0	2	1	1	0	29

- 設備投資の実施状況は、「実施した」件数が延べ20件で前期の24件を4件下回りました。  
業種別内訳では、製造業11件、建設業6件、卸売業・小売業・サービス業が各1件となっています。  
実施した設備内容は「車両」7件、「機械新增設」・「機械更改」が各5件、「事務機器」3件となっており、「土地建物」への投資はありませんでした。
- 来期の設備投資の予定を見ると、「予定あり」と回答した件数は延べ14件となっています。  
業種別内訳では建設業5件、製造業4件、小売業・サービス業が各2件、卸売業1件が予定されています。  
設備投資計画の内容を見ると、「車両」5件、「機械新增設」3件、「土地建物」・「機械更改」・「事務機器」各2件の予定となっています。

経営上の問題点（項目別構成比「集計」）  
（業種別度数）

（複数回答）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
売上の停滞・減少	6	8	8	7	17	17	7	9	13	20	6	4	57	65	23.0	28.4
同業者間の競争激化	0	0	6	5	1	4	2	2	2	1	4	3	15	15	6.0	6.6
利幅の縮小	3	5	8	7	3	7	2	0	10	8	5	3	31	30	12.5	13.1
人件費の増加	2	1	1	2	0	0	2	0	5	2	1	0	11	5	4.4	2.2
工場・機械（店舗設備）の狭小・老朽化	1	0	0	0	0	0	3	1	5	8	0	0	9	9	3.6	3.9
人件費以外の経費の増加	0	0	0	0	1	0	2	0	0	1	0	1	3	2	1.2	0.9
大手企業（大型店）との競争激化	3	1	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	6	2	2.4	0.9
合理化の不足	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	2	0.8	0.9
天候の不順	0	0	2	0	6	1	1	0	3	0	0	0	12	1	4.8	0.4
代金回収の悪化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	2	0.4	0.9
原材料高・材料価格の上昇	0	0	2	2	0	0	1	0	13	10	0	0	16	12	6.5	5.2
地場産業の衰退	0	0	3	2	3	3	1	0	1	3	0	0	8	8	3.2	3.5
集客力の低下	0	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	2	3	0.8	1.3
駐車場・資材確保難	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.4	0.0
為替レートの変動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
販売商品の不足・商品物件の不足	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	4	2	4	4	1.6	1.7
販売納入先からの値下げ要請	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	2	0.4	0.9
人手不足	3	2	7	7	6	1	3	1	7	4	1	0	27	15	10.9	6.6
商圏人口の減少	0	0	0	0	13	6	4	1	0	0	0	0	17	7	6.9	3.1
取引先の減少	2	2	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	2	7	0.8	3.1
生産能力の不足・技術力の不足	0	0	1	1	0	0	1	0	3	2	0	0	5	3	2.0	1.3
輸入製品（商品）との競争激化	1	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	3	3	1.2	1.3
問題なし	0	0	1	3	1	1	0	1	1	3	1	2	4	10	1.6	4.4
地価の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
その他	2	2	1	2	2	4	0	4	1	3	0	1	6	16	2.4	7.0
流通経路競争の激化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
大手企業・工場の縮小・撤退	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0.4	0.4
親企業による選別の強化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
小口注文・多頻度配送の激化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
商品物件の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
取扱商品（業務）の陳腐化	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.0	0.4
仕入先からの値上り要請	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
下請けの確保難	0	0	3	4	0	0	0	0	1	0	0	0	4	4	1.6	1.7
合計	24	24	45	43	56	53	29	20	71	71	23	18	248	229	100.0	100.0

○ 各企業が経営上の問題点として挙げている項目を見ていくと

		*前期*	
第1位～	「売上の停滞・減少」	65件	57件
第2位～	「利幅の縮小」	30件	31件
第3位～	「その他」（コロナ対応）	16件	27件

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第1位	第2位	第3位
卸売業	売上の停滞・減少 8	利幅の縮小 5	人手不足・取引先の減少 その他（コロナ対応） 2
建設業	売上の停滞・減少、 利幅の縮小、 人手不足 7	同業者間の競争激化 5	下請けの確保難 4
小売業	売上の停滞・減少 17	利幅の縮小 7	商圏人口の減少 6
サービス業	売上の停滞・減少 9	その他（顧客の高齢化・ コロナ対応） 4	同業者間の競争激化 2
製造業	売上の停滞・減少 20	原材料高・材料価格の上昇 10	利幅の縮小、工場・機械（店舗 設備）の狭小・老朽化 8

当面の重点経営施策（項目別構成比「集計」）（複数回答）  
（業種別度数）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
経費を節減する	8	7	11	13	16	18	9	9	17	18	2	7	63	72	26.5	29.4
販路を広げる	5	7	7	6	0	0	2	6	15	11	1	0	30	30	12.6	12.2
情報力を強化する	2	3	5	6	0	0	0	0	6	7	6	7	19	23	8.0	9.4
人材を確保する	3	3	7	8	9	3	3	1	11	8	1	2	34	25	14.3	10.2
技術力を強化（高める）	0	0	5	6	0	0	1	1	0	0	0	0	6	7	2.5	2.9
流通経路の見直しをする	0	0	0	1	0	0	0	0	9	12	0	0	9	13	3.8	5.3
機械化を推進する	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0	1	3	0.4	1.2
パート化を図る	2	1	3	1	2	2	4	2	2	1	2	3	15	10	6.3	4.1
新商品・技術の開発・新しい工法の導入	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	1	0	3	2	1.3	0.8
宣伝・広告を強化する	1	2	0	0	0	0	1	0	1	4	2	0	5	6	2.1	2.4
品揃えを充実（改善）する	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	3	2	1.3	0.8
新しい事業を始める	0	0	0	0	3	4	9	5	0	0	3	3	15	12	6.3	4.9
仕入先を開拓・選別する	0	0	0	0	4	5	0	0	0	0	0	0	4	5	1.7	2.0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0.4	0.0
売れ筋商品を取扱う	0	0	0	0	2	6	0	0	0	0	0	0	2	6	0.8	2.4
特になし	0	0	3	0	2	2	0	1	3	2	2	1	10	6	4.2	2.4
店舗・設備を改装する	0	0	0	0	1	1	1	2	0	0	0	0	2	3	0.8	1.2
工場・機械を増設・移転する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
不動産の有効活動を図る	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	1	3	3	1.3	1.2
輸入品の取扱を増やす	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
取引先を支援する	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	2	2	0.8	0.8
商店街事業を活性化させる	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2	2	0.8	0.8
営業時間を延長する	0	1	0	0	4	3	0	0	0	0	0	0	4	4	1.7	1.6
提携先を見つける	1	0	0	1	1	2	2	1	0	0	1	0	5	4	2.1	1.6
不採算部門を整理・縮小する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
労働条件を改善する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
教育訓練を強化する	0	0	0	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	5	0.0	2.0
合計	22	24	44	48	46	50	32	29	72	70	22	24	238	245	100.0	100.0

○ 経営上の問題克服のために、企業経営者が講じている重点経営施策としては

第1位～ 「経費を節減する」 72件  
第2位～ 「販路を広げる」 30件  
第3位～ 「人材を確保する」 25件

\*前期\*

第1位～ 「経費を節減する」 63件  
第2位～ 「人材を確保する」 34件  
第3位～ 「販路を広げる」 30件

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第1位		第2位		第3位	
卸売業	経費を節減する 販路を広げる	7	情報力を強化する 人材を確保する	3	宣伝・広告を強化する	2
建設業	経費を節減する	13	人材を確保する	8	販路を広げる、情報力を強化する、技術力を強化(高める)	6
小売業	経費を節減する	18	売れ筋商品を取り扱う	6	仕入先を開拓・選別する	5
サービス業	経費を節減する	9	販路を広げる	6	新しい事業を始める	5
製造業	経費を節減する	18	流通経路の見直しをする	12	販路を広げる	11

## 特別調査

### 「新型コロナウイルスの感染拡大による中小企業への影響について」

**問 1** 貴社の事業活動は、新型コロナウイルスによる影響を受けていますか。次の1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。特に影響がなかった方は、0とお答えください。

	1. 営業活動の自粛	2. 展示会、イベント、商談会等の中止・延期	3. 国内消費の不振	4. インバウンド需要の低下	5. サプライチェーン寸断等により原材料等の調達が困難	6. 出社困難者の発生	7. 店舗や工場等の閉鎖	8. 取引先の閉鎖等の混乱	9. その他 ( )	0. 特に影響はなし
合計 (構成比)	22.4%	14.6%	28.3%	7.8%	1.5%	1.5%	4.4%	9.3%	2.0%	8.3%
総合	46	30	58	16	3	3	9	19	4	17
卸売	3	5	6	2	0	1	1	3	0	1
建設	6	2	6	0	1	0	2	2	1	9
小売	10	8	18	2	0	0	1	5	1	2
サービス	11	5	6	3	0	1	3	1	0	0
製造	9	8	18	5	2	0	1	3	2	5
不動産	7	2	4	4	0	1	1	5	0	0

上記質問で「国内消費の不振」が58先と一番多く、次いで「営業活動の自粛」は46先、「展示会、イベント、商談会等の中止・延期」は30先、「取引先の閉鎖等の混乱」は19先、「インバウンド需要の低下」は16先、「店舗や工場等の閉鎖」は9先、「その他」は4先等が主な回答となった。また、「特に影響はなし」の回答が17先となった。3.の回答58先中で小売業・製造業が各18先となり、1.の回答46先中でサービス業が11先、小売業が10先と大方を締めている。

**問 2** 新型コロナウイルス感染拡大を受けて、貴社ではどのような対応をとられていますか。次の1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。特に対応を行っていない方は、0とお答えください。

	1. 生産量・営業時間の縮小	2. 生産量・営業時間の拡大	3. 取引条件の見直し	4. 事業の抜本的見直し	5. 社員の削減 (非正規職員を含む)	6. パートなど非正規社員の勤務時間削減	7. 給与やボーナス、手当の削減	8. 休廃業の検討	9. その他 ( )	0. 特に対応を行っていない
合計 (構成比)	32.9%	1.3%	4.5%	7.1%	0.0%	17.4%	6.5%	0.6%	5.8%	23.9%
総合	51	2	7	11	0	27	10	1	9	37
卸売	6	0	0	2	0	2	1	0	0	2
建設	4	0	0	1	0	0	1	0	3	14
小売	13	1	3	3	0	6	4	1	0	5
サービス	9	1	1	2	0	11	1	0	1	1
製造	18	0	1	2	0	7	2	0	1	13
不動産	1	0	2	1	0	1	1	0	4	2

上記の質問で「生産量・営業時間の縮小」が51先と一番多く、次いで「パートなど非正規社員の勤務時間削減」が27先、「事業の抜本的見直し」が11先、「給与やボーナス、手当の削減」が10先、「取引条件の見直し」が7先、「その他」が9先が主な回答となった。また、「特に対応を行っていない」の回答も37先となった。1.の回答51先中で製造業が18先、小売業が13先、サービス業が9先と大方を締めている。

**問 3** 貴社における今期 (4～6月) の売上は、仮に新型コロナウイルスの影響がなかった場合 (例年の4～6月) と比較して、どの程度変化しましたか。次の1～8の中からお答えください。

	1. 90%以上の減少	2. 70%以上90%未満の減少	3. 50%以上70%未満の減少	4. 30%以上50%未満の減少	5. 10%以上30%未満の減少	6. ほぼ変化なし (10%未満の増減)	7. 10%以上30%未満の増加	8. 30%以上の増加		
合計 (構成比)	0.9%	4.6%	13.8%	8.3%	36.7%	32.1%	3.7%	0.0%		
総合	1	5	15	9	40	35	4	0		
卸売	0	3	0	1	3	2	0	0		
建設	0	0	2	1	3	15	0	0		
小売	0	0	6	2	10	3	2	0		
サービス	1	2	3	1	2	3	1	0		
製造	0	0	3	4	16	9	0	0		
不動産	0	0	1	0	6	3	1	0		

上記の質問で「10%以上30%未満の減少」が40先で一番多く、次いで「ほぼ変化なし (10%未満の増減)」が35先、「50%以上70%未満の減少」が15先、「30%以上50%未満の減少」が9先、「70%以上90%未満の減少」が5先、「10%以上30%未満の増加」が4先の回答があった。5.の回答40先中で製造業が16先、次いで小売業が10先であった。また、6.の回答35先中で建設業が15先、製造業が9先と大方を締めている。

**問 4** 貴社では、危機関連保証や制度融資など、新型コロナ対応の資金繰り支援制度を利用しましたか。1～5の中からお答えください。また、資金繰り以外の政府による支援策（補助金、休業補償、減税、納税猶予など）を受けましたか。6～0の中からお答えください。

	新型コロナ対応の資金繰り支援制度					政府による支援策				
	1. すでに利用した	2. 申請中である	3. 今後、利用する可能性がある	4. 今後も利用するつもりはない	5. 申請したが、利用できなかった	6. すでに利用した	7. 申請中である	8. 今後、利用する可能性がある	9. 今後も利用するつもりはない	0. 申請したが、利用できなかった
合計（構成比）	20.9%	15.5%	33.6%	30.0%	0.0%	10.2%	23.1%	37.0%	27.8%	1.9%
総合	23	17	37	33	0	11	25	40	30	2
卸売	5	1	2	1	0	0	4	5	0	0
建設	2	1	6	12	0	2	0	7	12	0
小売	5	5	6	7	0	1	5	10	6	1
サービス	4	2	6	1	0	2	7	4	0	0
製造	5	6	12	10	0	5	6	10	9	1
不動産	2	2	5	2	0	1	3	4	3	0

「新型コロナ対応の資金繰り支援制度」について、3.は37先、4.は33先、1.は23先、2.は17先、5.は0先であった。  
主な回答の内訳

- 3.の回答の37先中、製造業の12先が一番多く、次いで建設業・小売業・サービス業が各6先となった。
- 4.の回答の33先中、建設業が12先、次いで製造業が10先となった。
- 1.の回答の23先中、卸売業・小売業・製造業が各5先となった。

「政府による支援策」について、8.は40先、9.は30先、7.は25先、6.は11先、0.は2先となった。  
主な回答の内訳

- 8.の回答の40先中、小売業・製造業が各10先、次いで建設業が7先となった。
- 9.の回答の30先中、建設業12先、次いで製造業9先、小売業6先となった。
- 7.の回答の25先中、サービス業が7先、次いで製造業が6先、小売業が5先となった。
- 6.の回答の11先中、製造業が5先、次いで建設業・サービス業が各2先となった。

**問 5** 災害や急な不況の対策として、常時、手元の流動性資金の確保をしていますが、貴社では、新型コロナウイルスの影響が出る以前、現預金をどの程度保有していましたか。現預金の保有が最も少ない時期（売掛金の回収直前など）を想定したうえで、1～6の中からお答えください。また、貴社では2020年中の資金繰りについて、どうお考えですか。7～0の中からお答えください。

	現預金の保有程度						2020年中の資金繰り			
	1. 売上げの3ヶ月分以上	2. 売上げの1～3か月分	3. 売上げの2週間分～1か月分	4. 売上げの2週間分未満	5. ほとんど保有していない	6. 把握していない	7. 不安はない	8. あまり不安はない	9. やや不安がある	0. かなり不安がある
合計（構成比）	25.7%	37.6%	20.2%	6.4%	6.4%	3.7%	14.7%	31.2%	33.9%	20.2%
総合	28	41	22	7	7	4	16	34	37	22
卸売	0	2	4	1	1	1	0	2	4	3
建設	8	8	2	0	2	1	4	10	7	0
小売	5	6	5	5	1	1	5	3	9	6
サービス	3	8	2	0	0	0	0	2	3	8
製造	7	14	7	1	3	0	4	12	12	4
不動産	5	3	2	0	0	1	3	5	2	1

「現預金の保有程度」について、2.は41先、1.は28先、3.は22先、4・5は各7先、6は4先の回答となった。  
主な回答の内訳

- 2.の回答の41先中、製造業が14先、次いで建設業・サービス業が各8先、小売業が6先となった。
- 1.の回答の28先中、建設業が8先、次いで製造業が7先、小売業・不動産業が各5先となった。
- 3.の回答の22先中、製造業7先、次いで小売業が5先、卸売業が4先となった。

「2020年中の資金繰り」について、9.は37先、8.は34先、0.は22先、7.は16先となった。  
主な回答の内訳

- 9.の回答の37先中、製造業が12先、次いで小売業が9先、建設業が7先となった。
- 8.の回答の34先中、製造業が12先、次いで建設業が10先、不動産業が5先となった。
- 0.の回答の22先中、サービス業が8先、次いで小売業が6先、製造業が4先となった。
- 7.の回答の16先中、小売業が5先、次いで建設業・製造業が各4先、不動産が3先となった。